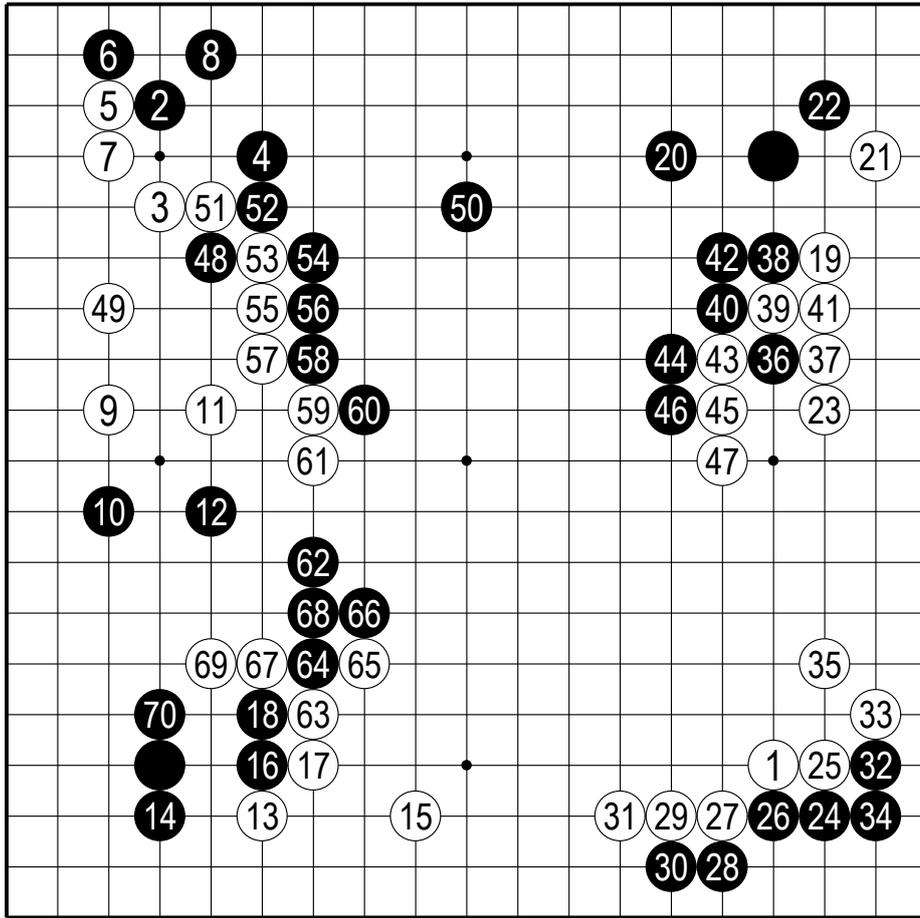
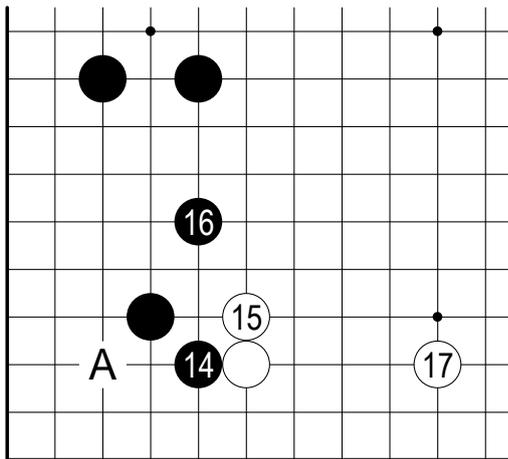


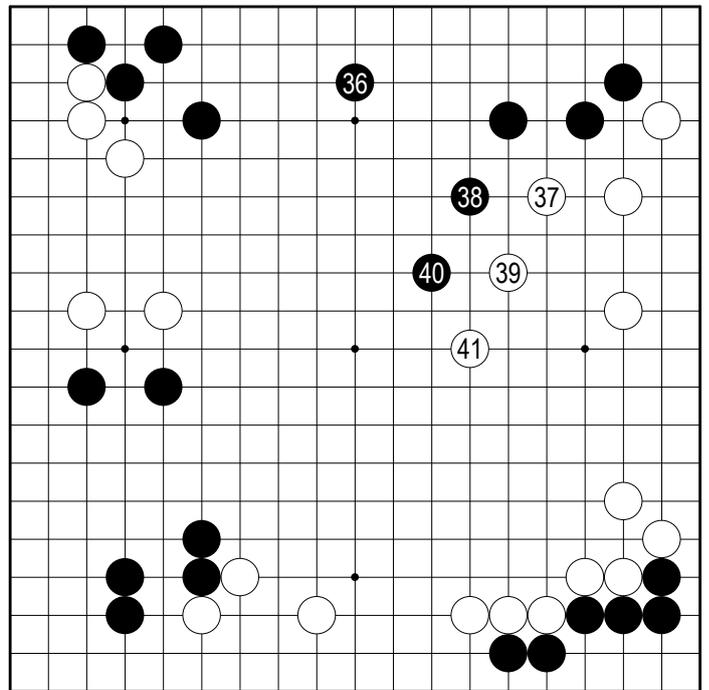
# ○/△ オンラインレッスン 二子局



**【白1～黒70手】**  
 黒4～8などの、打ち慣れた形を使いこなしていて良い感じです◎  
 黒24の三々入りから、黒36のカタツキがポイントでしたね。  
 うまく右辺の白模様を抑えながら、上辺の黒模様を拡大できました。

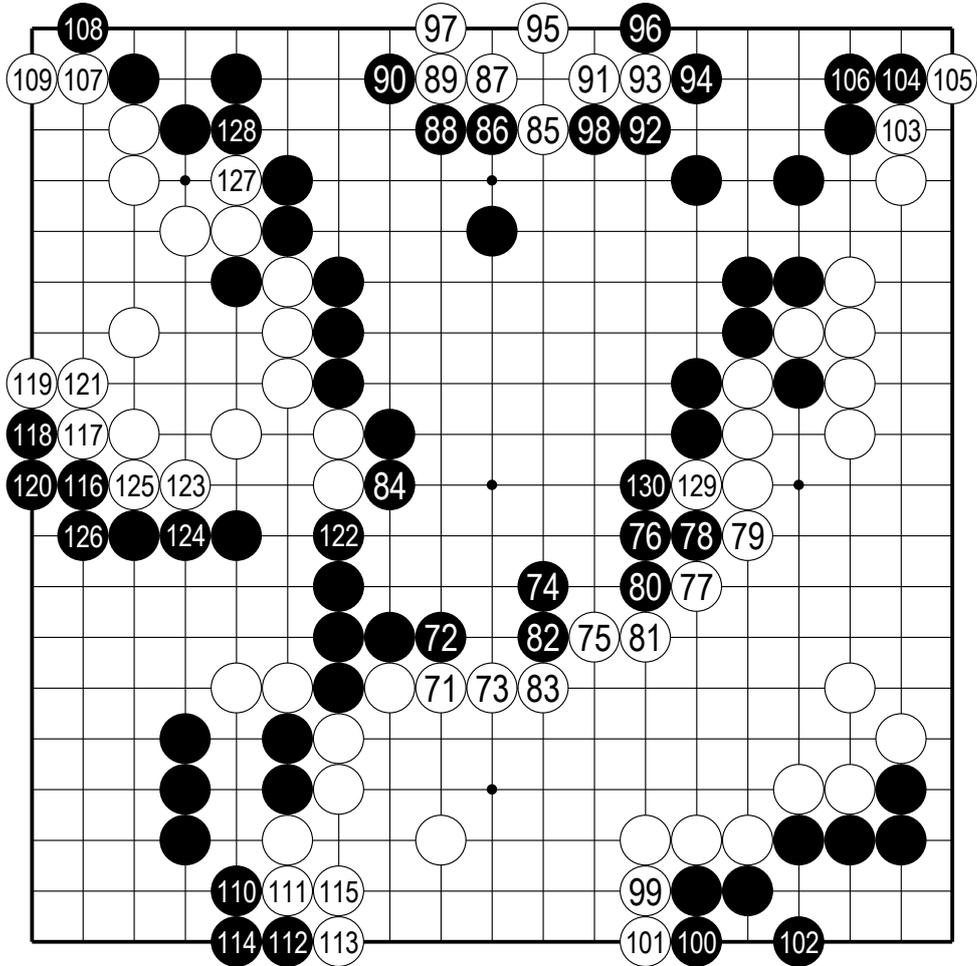


**【黒14でコスミツケでは隅を守れない】**  
 この図の黒14のようにコスミツケを打つのは、後に白Aの三々入りが弱点になってしまいます。なので、実戦の黒14の鉄柱がオススメの守り方なのです。  
 「隅の陣地を守りたいときは鉄柱」ということを意識してみてください！



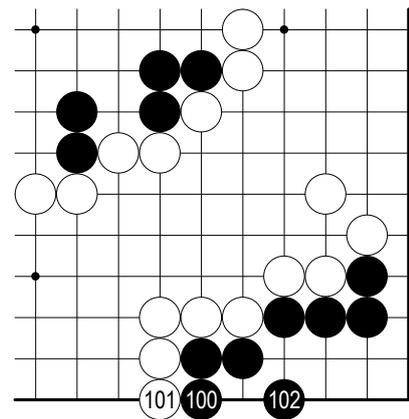
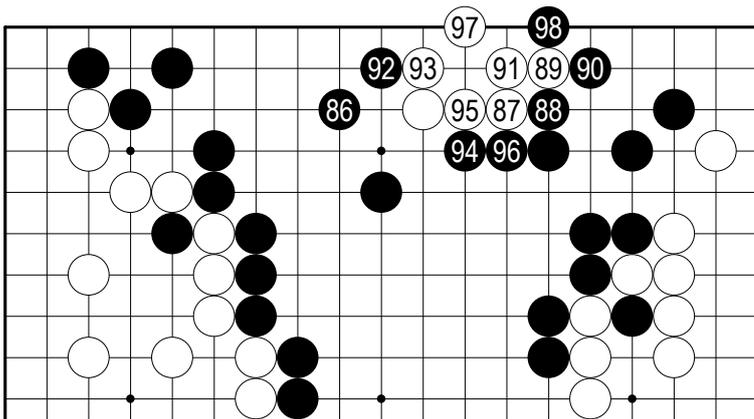
**【もしも、黒36で上辺へ行くと…】**  
 この図の黒36のように上辺に打つと、白37～41などで白模様が大きくなってしまいます。実戦の黒36が白模様を抑える好手でしたね◎

# ○/△ オンラインレッスン 二子局



【白71～黒130手】

中盤以降は、陣地のまとめ方と、入ってきた白85の撃退法がポイントでした。  
黒86～98の攻防に注目です！



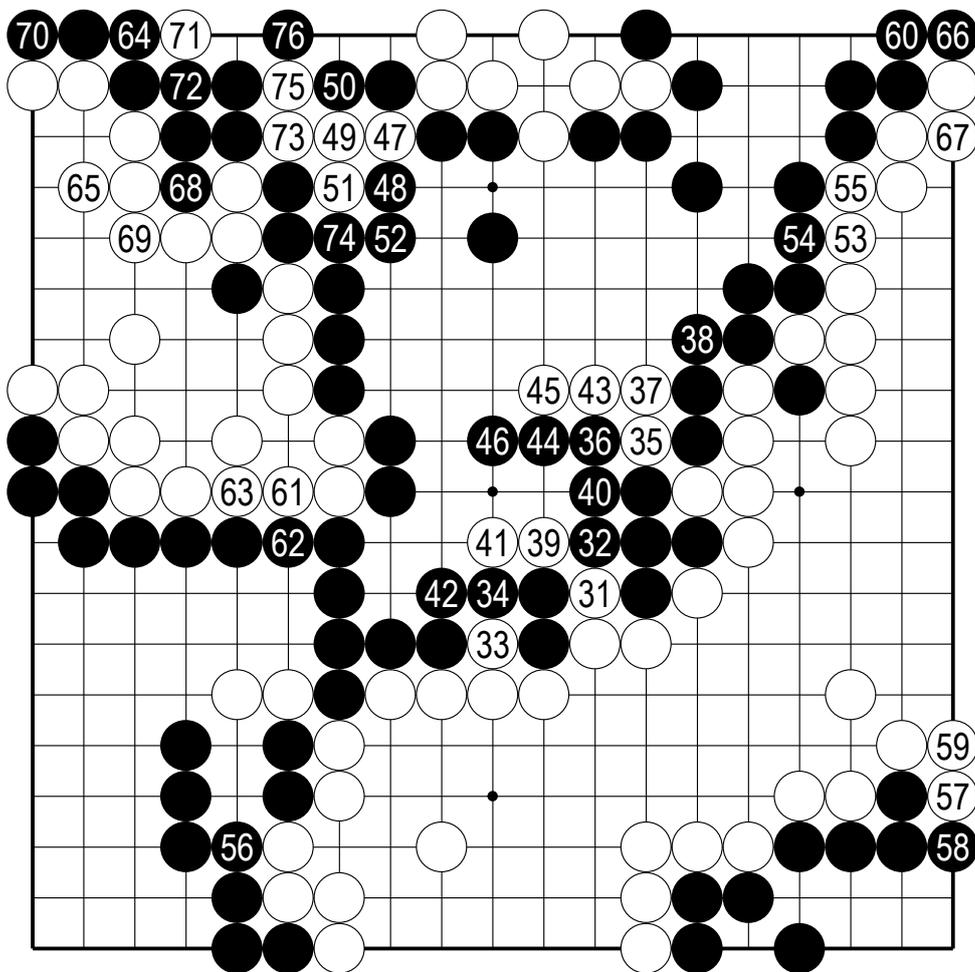
【黒86の別案⇒二眼を作らせなければ取れる】

白に二眼ができなければ良いので、この図の黒86のように敵につけない方法もありました。一例ですが、黒98まで、白を一眼にして取る事ができます。戦いの練習になりますので、是非、碁盤に並べてみて下さいね。

【黒100は安全なオススメの守り◎】

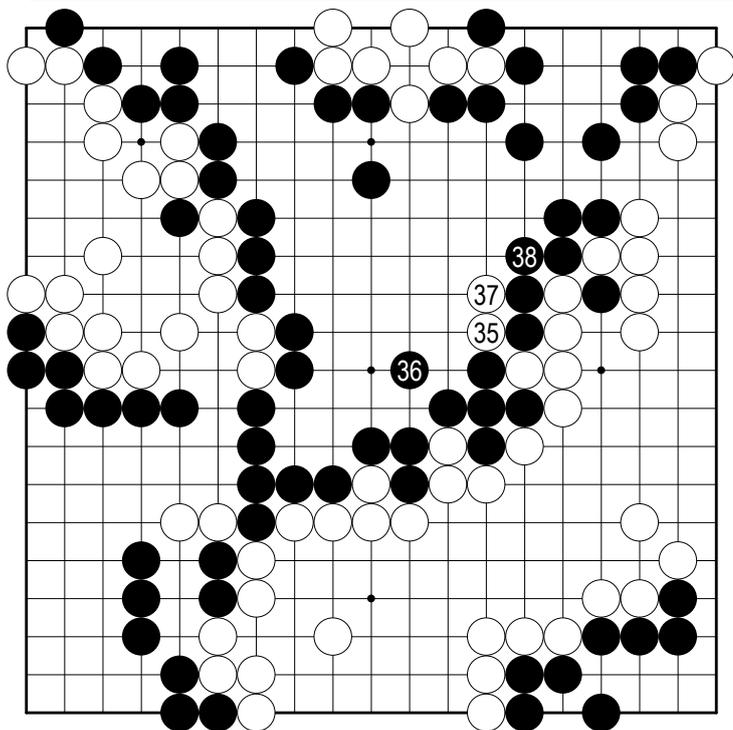
黒100は手抜きをすることも可能ですが、このように「サガリ」で守っておくのは安全でオススメです。三々定石の後の要注意ポイントですね。陣地も大きく取れますので、実戦で使ってみて下さい！

# ○/△ オンラインレッスン 二子局



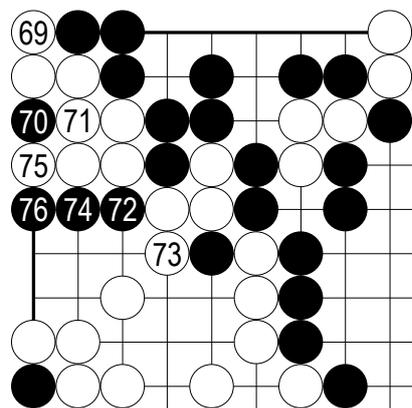
【白131（31と表記）～黒176（76と表記）】

終盤はお互いにアタリになりやすいので要注意ですね。また、入ってきた白への応手もとても良かったです◎下の図は別案ですので参考になさってください。



【黒36の別案⇒味方を守る事で相手の石を取れる】

この図の黒36のようにキズを守る打ち方もあります。黒38まで、黒石をしっかりと守れていますね◎



【白が69で間違っ詰めてきたら…】

もしも、この図の白69のように詰めてきたら、黒70～76が白を取るための手筋です。アタリを続けて、最終的に白を取ることができますね。

実戦で良く出てきますので、是非、碁盤に並べてご確認ください！

※実戦の白69はダメ詰めの際の大事な守りなのです。